



複数の不正検知サービスを提供しているのですが、そのうちの『ageer

S』と呼ばれるサービスは、グループのインドネシア法人が開発し、それ



決済を導入しよう

VeriTrans4G (ベリトランスフォージー)

受注・決済

最高レベルのセキュリティソリューションを備えた次世代型総合決済サービスを提供

業界に欠かせない存在だからこそ、利便性、対応力、セキュリティなど、高度なレベルでのサービス提供が求められる決済システム。インターネット黎明期に設立し、安心安全な決済インフラを構築、進化させ続けているベリトランス株式会社 代表取締役執行役員社長 篠寛氏に、決済ソリューションの今についてお話を伺いました。



篠寛 *Kiroshi Shino*
代表取締役執行役員社長

COMPANY PROFILE

ベリトランス株式会社



事業内容 収納代行サービス、決済データ処理サービスの提供
決済プラットフォーム・取引管理ツールの提供、システム構築・運用支援
所在地 東京都渋谷区恵比寿南3-5-7 デジタルゲートビル5F
代表者 代表取締役執行役員社長 篠寛
設立 1997年4月

老舗としてECを牽引 社会インフラを支える

1997年に設立されたベリトランスは、EC決済業界の老舗です。EC決済は、現在ではなくてはならない社会インフラへと成長しましたが、ベリトランスはまさにその社会インフラを築き、支えてきた企業の代表格といえるでしょう。

EC決済は、普及に伴い単に決済情報を処理するだけでなく、そのセキュリティが非常に重要視されるようになりました。ベリトランスはカード情報保護のための国際セキュリティ基準PCIDSSをはじめとし、創業当初より各種セキュリティ認証をいち早く取得するなど、セキュリティ面においても業界をリードしています。

カード情報の非保持化と不正使用対策に対応

ベリトランスが提供する『VeriTrans4G』は、最高レベルのセキュリティソリューションを備えた次世代型総合決済サービスです。業界最多の多彩な決済手段に対応し、ECだけでなく、実店舗、電話注文など多様な販売チャネルでの活用が

可能。また、改正割賦法と「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画（以下「実行計画」）にて、加盟店に対応が求められているカード情報の非保持化と不正使用対策にも完全対応する、国内最高水準のセキュリティを誇るシステムを標榜します。

実行計画により、EC事業者をはじめとしたすべてのカード加盟店はカード情報の非保持化、またはPCIDSS準拠への対応に直面しています。現在、多くのEC事業者において、自社環境でのカード情報の保持・通過・処理というリスクを抱えています。『VeriTrans4G』であれば、カード情報の非保持化を実現する「トークン決済」「リンク決済」を導入することで、店舗は一切カード番号を扱わずに決済を終えることができます。

実行計画が要請するもうひとつの対策はカードの不正使用対策。『VeriTrans4G』では本人認証や券面認証などベリシックな不正防止策に加え、カード情報やメールアドレス、住所等、注文情報に付随するさまざまな情報を元に不正利用を検知するシステムが標準実装されています。

「事業者様の要望に対応できるように

を「逆輸入」したものです。新興国ではカード不正が圧倒的に多く、そのノウハウを活用しました」（篠氏）。
通常、こういった不正検知システムは個別のサービスとして提供されますが、『VeriTrans4G』では、決済システムと不正検知システムが自動連携。こういった機能を実現するPSPはほかにはないそうです。また業界初の試みとして「データセンターの完全三重化を実現。社会インフラとして「サービスの無停止化」を目標により強固な基盤を構築しました。

ECと実店舗をシームレスにつなぎ 実店舗への展開を加速

ECの事業者が実店舗も運営しているケースは少なくありませんが、ECと実店舗の決済や会員情報をシームレスに管理するオムニチャネル化の実現も『VeriTrans4G』の大きな特徴です。

一般的にECサイトでは、初回購入時のカード情報の登録で、2回目以降はログインのみでカード情報を入力することなく決済できます。VeriTrans4GはEC・実店舗間で垣根なく決済が可能である

ため、ECの登録情報をもとに、実店舗でも会員情報と連動したアプリを使ってバーコード決済を行うなど、顧客はカードを取り出すことなく支払いをすることが可能です。
また、実店舗でのカード情報の非保持化、ICカード端末対応にも対応しているため、対応に比較的大きな投資を伴いがちな実店舗にとって魅力的なソリューションであり、事業者からの問い合わせが増えているそうです。

「こうならいいな」ではなく「こうなるべきだ」を実現

ベリトランスでは創業当時から、事業者がカード情報を保持せず決済できる「持たざる決済」の仕組みを提供してきました。
「そういう意味では、われわれが描いていた理想に時代が追い付いてきたと感じています」（篠氏）。

「こうなるべきだ」という理想を追求して実現していく。篠氏は、業界のリーダーとして、既存事業を確実に運用し、これからも全方位かつスピーディに新たなサービスを開発していくと、常に新しい分野にマーケットを求めていく姿勢を強調しました。